

放射線治療 患者紹介チェックシート(乳癌術後照射用)

放射線治療の適応がある患者でも、状況によっては、放射線科ではなく、それぞれのがんの担当科を受診していただきたい場合があります。放射線科を受診後に他科に回っていただくのは患者の負担が大変大きく、可能な限り、受診予約の段階で振り分けを行いたいと考えます。

放射線治療を目的に、当院に患者をご紹介いただく場合は、診療情報提供書とともに、本チェックシートを FAX してください。内容に応じ、放射線科、あるいは乳腺外科など、他科への受診予約を取らせていただきます。

以下につき、該当する項目をチェックしてください。判断が難しい場合は、放射線科(治療外来)まで、お電話でご相談下さい。

• 以下の場合には、放射線科での受け入れが困難です。当院の乳腺外科を受診していただきます。

放射線治療以外のがん治療も依頼したい／放射線治療後の治療・管理全般を依頼したい

患者・家族が、放射線治療後は紹介元に戻って管理をうけることを希望していない

入院管理の必要な病状である／転院が必要

• 以下の場合には、放射線治療医から直接お電話で確認させていただくことがあります(紹介前、あるいは当院受診後)

乳房／胸壁、鎖骨上窩、以外を含む照射依頼(内胸動脈領域 LN など)

その他、典型的な乳房温存術後／乳房切除後以外の放射線治療依頼

• 特に以下の場合、明確にご指示いただければ、問い合わせが不要になります。該当するものがあれば、チェックをお願いします。

断端陽性／boost 照射が必要な場合:部位の指定方法は?

marking clip など画像で確認できるものがあり、これに基づいて boost の必要な部位を指定する

画像では確認できない。boost 部位を、当院受診に合わせて皮膚上にマジックなどでマークし、指定する

その他(必要に応じ、お問い合わせします)

乳房切除、断端陰性、pN(+) (1~3 個)の場合

当院では、現在、この条件での術後照射を行っておりません。ご依頼の場合は、以下のどちらとするか、ご指定下さい。

胸壁と、同側鎖骨上窩を照射する。(陽性 LN 4 個以上の場合と同じ)

胸壁のみを照射し、鎖骨上窩は照射しない

尚、受診の際には、直近の CT など、画像検査のデータを持参させるよう、お願いします。